

地域女性活躍推進交付金事業実施計画書(市町村分)

市町村名:山形県酒田市

1. 事業名	酒田市地域女性活躍推進事業				
2. 実施期間	交付決定日 ~ 令和5年3月31日				
3. 女性活躍推進法に基づく推進計画策定期(策定予定時期)	平成31年 3月 (策定済・策定予定) ※どちらかにマルをつけてください。	計画期間(予定)	H31	~ R10	
4. 地域の実情と課題	<p>(※地域の産業構造の特性、女性の就労状況、女性の就業率や管理職比率等の状況を踏まえた現状把握、分析による、現在の実情と認識している課題について具体的に記載してください。これに対し、これまで取り組んできた内容についても記載してください。)=要件①「地域性」</p> <p>本市の女性就業率は49.1%であり平成22年時の47.5%に比べて上昇してきているが、男性就業率66.0%と比べて低い(平成27年度国勢調査)状況となっている。また、20歳~59歳の女性就業率は概ね7割を超えているが、正規職員の割合が男性62%に比べて43%と低く、パート等非正規雇用者の割合が35%と高くなっている。賃金面では、令和2年賃金構造基本統計調査によると山形県の10人以上企業の平均賃金(決まって支給する現金給与額)は、女性は222.4(219.2)。カッコ内は前年。以下同じ)千円であり、男性299.4(304.3)千円と比較し、前年よりわずかな改善は見られるものの、依然として格差は大きい。また、令和2年山形県労働条件等実態調査によると県内の女性の育児休業取得状況は95.9%(95.7%)、男性は8.1%(6.7%)、役職別の管理職者に占める女性管理職者の割合は、役員19.5%(16.8%)、部長相当職10.8%(11.8%)、係長相当職25.3%(26.9%)となっている。依然として、男性は仕事、女性は家庭の性別による役割分担意識が強いことが同われ、市内企業や関係機関と連携し、女性活躍に対する意識改革を図る必要がある。国・県及び企業経営者や有識者等を構成メンバーとする酒田市女性活躍推進懇話会において、情報共有と事業の方向性を確認しながら、女性が働きやすい職場環境づくりや家庭との両立支援にかかわる事業を展開しており、今後も継続して取り組みを進めていく。</p>				
5. 事業の趣旨・目的	<p>(※地域の実情と課題を踏まえ、複数の要因に優先順位をつけ、より本質的な課題の解決に向けどのような事業を実施しようとしているのか分かるように記載してください。)=要件①「地域性」</p> <p>本市においては、20代から50代の女性の就業率は7割を超えているが、非正規雇用者の割合が高く、平均賃金も男性よりも低い。管理職の割合も低いため、事業主に対する働きかけが重要であり、引き続き酒田市女性活躍推進懇話会において情報を共有し、本市に合った効果的な事業を協議し連携して推進していく。女性が働きやすい職場環境づくりを促進するため事業主への働きかけを行うとともに、女性活躍の必要性を伝えるためのセミナーを開催する。また、働くことや管理職となることに自信が持てない女性自身に対して具体的なイメージを持ってもらうため、ワークショップ型セミナーの開催やロールモデルの発信により不安解消に努める。</p>				
6. 事業目標・重要業績評価指標(KPI)(全体) (※女性活躍推進法に基づく推進計画や男女共同参画計画などの数値目標を活用しつつ、客観的な数値等による事業目標・KPIを設定してください。)=要件②「見える化」 (※複数の目標・KPIを設定する場合は、適宜、行を追加してください。)	①令和7年度まで(第5次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標	<p>(※具体的な数値目標を記載してください。) (※末尾にアウトカム又はアウトプットの別を( )書きで記載してください。)</p> <p>国勢調査に基づく、女性就業率を限りなく男性の就業率に近づける(アウトカム)</p>	女性就業率60% (R7.10)	49.10% (H27.10)	
	②令和7年度まで(第5次男女共同参画基本計画期間中)の重要業績評価指標(KPI)(※KPIは目標達成への事業進捗の測定指標)	<p>(※必要に応じて具体的なKPIを記載してください。) (※末尾にアウトカム又はアウトプットの別を( )書きで記載してください。)</p> <p>賃金構造基本統計調査の女性の平均賃金を男性の平均賃金に近づける(アウトカム)</p>	300千円 (R8.3)	/	
	③事業目標(全体)	<p>(※具体的な数値目標を記載してください。) (※末尾にアウトカム又はアウトプットの別を( )書きで記載してください。)</p> <p>住民アンケート調査による職場における男女の不平等感を感じる割合を減少させる(アウトカム)</p>	職場における男女の不平等感を感じる割合40% (R5.3)		
	④事業KPI(全体)	<p>(※必要に応じて具体的なKPIを記載してください。) (※末尾にアウトカム又はアウトプットの別を( )書きで記載してください。)</p> <p>女性活躍推進法の努力義務規模の事業所による一般事業主行動計画届出件数を増加させる(アウトカム)</p>	女性活躍推進法の一般事業主行動計画届出件数5件 (R5.3)	/	

7. 事業内容	<p>(※把握された課題解決、目標達成に向けて、地域特性を踏まえた事業設計(手法、対象者等)であることが分かるように記載してください。)<b>⇒要件①「地域性」</b>  (※事業全体の概要及び個別事業の事業名・概要を記載してください。個別事業は番号(丸数字)を付けてください。また、個別事業の具体的内容は様式2-2-3に記載してください。)  (※複数事業間や他の主体の政策・事業との連携が具体的に分かるように記載してください。)<b>⇒要件④「政策連携」</b>  (※昨年度と同様の事業を実施する場合は、昨年度からの変更点等も記載してください。)</p> <p>第2期酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点施策の1つに「日本一女性が働きやすいまち」の実現を掲げ、市を挙げて女性活躍を推進するための体制整備や環境整備を総合的に進める。  女性活躍推進事業/女性活躍を推進するためには、市のみならず国、県、経済団体等官民一体となって本市の現状を共有しながら効果的に事業を協議し、実施していく必要がある。そのため、平成29年度に設置した女性活躍推進懇話会を引き続き実施し、情報や課題を共有しながら連携を強化するとともに、令和3年度には民間企業と連携協定を締結しており、多様な意見やノウハウを政策に活かしていく。平成29年度から平成31年度までは、市民意識の向上や女性のチャレンジ支援、ネットワークづくりを目指した市民フォーラムを開催したが、令和2年からは新型コロナの影響により、フォーラムに替えて、ガイドブックやポスターの作成、ポータルサイトを開設し女性活躍の周知に努めている。また、働きやすい職場環境整備を進めるため、日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会(以下リーダーの会と表記)を設立し、市独自の奨励金制度(対象:行動計画策定、女性管理職の登用、男性の育休取得)とともに、本交付金事業との連携を図っていく。  事業主に対しては、女性活躍の必要性を伝えるためのセミナーの開催とリーダーの会会員向けにメールマガジンを配信し、理解促進と機運醸成を図る。また、これから就職する高校生や大学生に対して、えるぼし・一般事業主行動計画・リーダーの会の事業の周知に力を入れ、より良い人材を獲得したい企業が女性が活躍しやすい環境づくりを目指すという好循環を促す。更には女性活躍の情報を一元的にまとめたポータルサイトを活用して、働きやすい職場環境に勤める企業や活躍している女性ロールモデルの紹介、女性の相談窓口等の情報を充実させる。サイトについては、市の刊行物等への広告掲載、事業広報用ポスターや啓発用クリアファイルへ二次元コードを掲載するなどして誘導を図っていく。  これまで活躍する女性の話しを聞く場として産業振興まちづくりセンターで開催していたサンロック女子会を、民間企業との連携を図りながら、ワークショップ型セミナーに変えて実施し、働くことや管理職となることに自信が持てない女性個人の不安を取り除き、キャリアアップを目指す内容とする。なお、本事業と連携して進めている産業振興まちづくり推進事業においては、女性の創業支援やIT女子育成の面での協力を図り、男女共同参画推進事業においては、これまでと同様、家事育児等家庭での役割が女性に偏らないようなジェンダー平等の意識づけを行っていく。  女性活躍支援員においては、これまで主に一般事業主行動計画策定の推進を目的とする企業訪問を担ってきたが、今後は企業への働きかけのみならず、高校生・大学生への周知、セミナー運営、ロールモデルの発信等、本事業に関わる業務全般を担うものとする。</p>					
8. 事業の実施により期待される効果	女性が働きやすい環境整備、企業業績の拡大					
9. 事業効果の検証及び今後の課題の整理方法	女性活躍推進懇話会で施策の進行管理を行うとともに、施策効果の評価を行い、公表する。					
10. 事業の実施体制 ⇒要件③「官民連携・地域連携」	連携体制の名称	酒田市女性活躍推進懇話会	女性活躍推進法に基づく協議会の設置状況			
	構成団体	(※連携団体を全て記載してください。) 国(ハローワーク酒田)、県(庄内総合支庁)、酒田市(地域創生部、健康福祉部、企画部)、酒田商工会議所(市内企業)、有識者、女性農業者グループ、福祉団体関係者、地域団体関係者				
	各構成団体の主な連携内容	(※各連携団体の主な参画内容を記載してください。) 女性活躍の推進に関する総合的連携				
	他の地方公共団体との連携	(※他の市町村や都道府県との連携について、連携団体及び具体的な連携方法を記載してください。連携が困難な場合は、その理由を記載してください。) 山形県(酒田市女性活躍推進懇話会への参画)、庄内北部地域定住自立圏構成団体(三川町、庄内町、遊佐町:男女共同参画推進センターの広域利用)				
11. 女性活躍推進法に基づく国の「女性活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」に準じた公共調達における取組	<p style="text-align: center;">① 実施済 ② 令和 年 月 日から実施予定 ③ 検討中 ④ 実施予定なし  ※ いずれかにマルをつけてください。</p> <p>①、②の場合、取組内容  (※国の取組指針に準じて、総合評価落札方式や企画競争方式による調達において、ワーク・ライフ・バランス等推進企業(えるぼし認定企業等)を加点評価する取組等について記載してください。)  平成28年4月より、建設工事の入札において総合評価落札方式を採用した場合に、県の制度であるやまがた子育て・介護応援いきいき企業のうち実践(ゴールド)企業及び優秀(ダイヤモンド)企業に対し加点措置しており、平成30年度からは宣言企業登録も追加し裾野の拡大を図ってきた。また、令和2年度からの県の制度変更に伴い、新たに令和4年度から日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会会員及びえるぼし認定企業に対しても加点措置を行う。</p>					
12. 担当者名及び連絡先	酒田市地域創生部地域共生課男女共同参画係 尾形 美枝		電話:0234-26-5612 e-mail:chiiki-kyosei@city.sakata.lg.jp			
13. 事業実施及び連携工程	様式2-2-1に記載⇒要件④「政策連携」					
14. 経費の内訳	様式2-2-2に記載					

注)本様式はA4で3枚以内としてください。